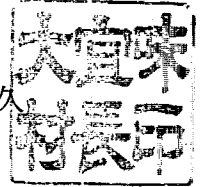


大 建 第 805 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

大宜味村長 島 袋 義 久



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったみだしの件について、
別紙により回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

沖縄県大宜味村

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ① 地域の状況にあった道路事業の規格の是正
- ② 国定公園指定地区の道路整備の強化
- ③ 災害時の避難道路の整備強化
- ④ 市町村と県や国との関係機関との連携による事業の推進強化
- ⑤ 無駄な道路のないような整備計画

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

沖縄県大宜味村

○現状

本村は標高150m～200mの広い段丘面があり、本地域に住む人々はここを開拓地として、集落が発達してきましたが、道路は急傾斜地を通る状況にあり、財源等が乏しいため、馬車道に舗装をした状態で、最近の集中豪雨等で落石や崩落が多く部分的な災害工事では対応仕切れないのが現状です。なお、本村は前記のような地形でありますので、海岸側に15の集落があり、地震による津波等があると全集落に影響を及ぼす箇所であり、長寿の方々が多く俊敏な移動には自動車しかなく、段丘面へ移動する、安全、安心な道路が必要である。又、段丘面の集落は、住生活の道路の整備の遅れによる過疎化が進み疲弊している。

○課題

国道、県道(主要地方道)については、広域幹線と村道とのネットワーク化を促進する。特に災害等の非常時への対処、観光振興に寄与するため、幹線村道等の整備促進により移動の多様化を高め、広域ネットワークの拡大を図る。村道については行き止まり道路、狭隘道路の解消を図り、集落道路内の廃水処理の整備を図る。特に段丘面内の移動における利便性向上、効率化を図るため、既存道路の改良等を積極的に推進してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

沖縄県大宜味村

本村の第4次総合計画の道路計画整備について

道路整備については、災害に強い道路、お年寄りに優しい道路、災害時に避難しやすい道路、自然に優しい道路の整備により、安全・安心な村づくりを目指しております。